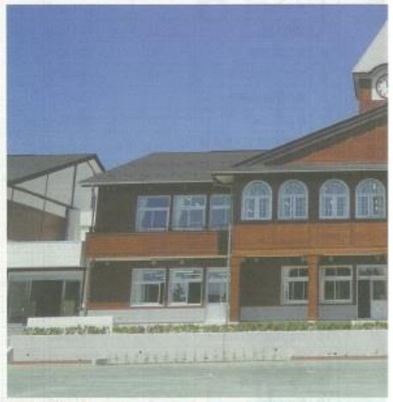
高崎市立 箕輪小学校 伝統を受け継ぐ新校舎、バトンを未来へ

高崎市産材を使用した校舎

～新校舎完成に寄せて～

高崎市立
箕輪小学校長
小島 明 氏

このたび完成した新校舎は、慣れのある木造校舎です。第一期工事、プール工事、そして第二期工事と続き、2020年12月にすべての新校舎が竣工し、一体感のある豊かな学び舎になりました。21年1月7日には、黒岡市長をはじめ多数の来賓の方々に御臨席を賜り、新校舎落成記念式典を挙行することができました。歴史伝統や地域の皆さまが育んでくださった良き伝統を受け継ぎながら、新しい校風を吹き込み、箕輪小学校をさらに発展させていくことを目指すとともに、地域の皆さま、保護者の皆さま、そして工事に関わっていただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。



時計台が特徴的な校舎

施設概要

- ●施設名
  高崎市立箕輪小学校
- ●所在地
  高崎市箕郷町西明屋196－1
- ●構造階数
  W造一部RC造2階建て
- ●延べ床面積
  5999.03㎡
- ●仕上げ
  屋根：ガルバリウム鋼板葺き
  外壁：杉板張り、漆喰調塗り壁
- ●諸室
  教室、図書室、給食室、職員室、家庭科室、理科室、特別活動室など

～ごあいさつ～

高崎市長
富岡 賢治 氏

高崎市が2017年度から整備を進めてきた高崎市立箕輪小学校の校舎改築工事がこのほど完了した。時計台が特徴的な新校舎は、高崎市産材をふんだんに使用。地域に溶け込む、温もりのあるモダンな雰囲気の建物となった。図書室には児童が上履きを脱いで座って本を読める、ヒノキ材を使用したスペースを整備したほか、スロープやエレベーター、多目的トイレなどを設置し、身体障害者も安心して使用できる施設となっている。箕輪小学校は23年に創立150周年を迎える。新校舎の完成は、伝統を後世へと継承するとともに、地域のさらなる発展に期待が高まる。

このたび、高崎市立箕輪小学校の新校舎が完成いたしました。

完成した新校舎は、城下町の名残りをとどめる木造建築の街並みに調和する木造2階建てとし、市産材を多く使用した温もりのある校舎となりました。また、新校舎が地域のランドマークとなるよう時計台を設けるとともに、バリアフリーへの配慮として、エレベーターやスロープ、多目的トイレなどを整備いたしました。

箕輪小学校が、新たな学習環境のもと、心身ともに健全な児童を育成する学校として大きく発展するよう、皆さまにはなお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

教室

箕輪小学校の沿革

1873年
箕輪小学校開校（金龍寺）
1971年
校舎新築工事完了
1974年
創立100周年迎える
1993～95年
校舎大規模改造改修工事
2015年
校舎耐震工事
2017～18年
校舎改築第1期工事
2018～19年
プール改築工事
2019～20年
校舎改築第2期工事
2021年
新校舎落成記念式典

設計コンセプト

「ふるさとの歴史や文化を継承し、学ぶ楽しさを育てる校舎」を基本設計コンセプトに掲げ、地域にふさわしい学校となるよう校舎の改築設計に取り組んだ。

箕輪小学校は140年の歴史を誇る学校であり、明治時代から残る木造校舎は昭和40年代まで使用され、地域の方々の思い出となっている。

技術的基準は現代に合わせるものの、新校舎の佇まいは以前の木造校舎を思わせる要素を採り入れ、学校および地域の歴史と伝統を意識させる形へと落とし込んだ。

また、校舎は周囲の景観に馴染むよう、2階建ての低層建築とし、高崎市産材を活用した。落ち着いた外観イメージとしながらも、木造であることを意識させ、世代を問わず地域の方々が愛着を持てるような外観とした。

給食室

図書室

児童から人気のプール

多目的スペース

家庭科室

放送室

コンピューター室

理科室

杉板張りが目を引く校舎